万歩計とIPv6によるお年寄の健康管理システム



< 背景 >

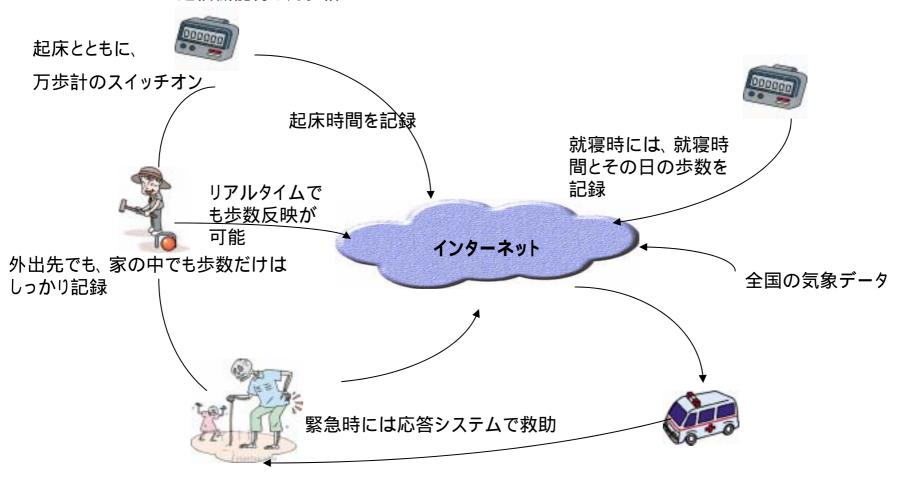
一人暮らしのお年寄の増加

(原因:少子高齢化と核家族化の進行、、子供の独立、お年寄自身が自立した生活を選択、災害など) 孤独死の増加

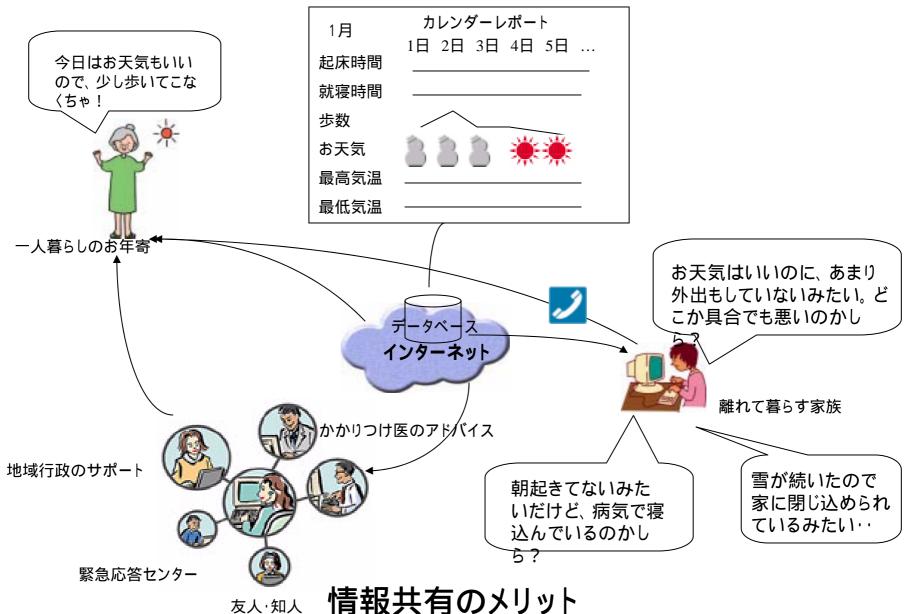
< 既存システムの問題点 > 家の中の一部の行動のみしか把握できない 病人の監視を目的にしたものが多い プライバシーが気になる場合もある 勝手に外出しに〈いなどかえって気を使う

もっと自然に、一人暮らしのお年寄の健康状態を把握で きないか?

IPv6通信機能付き万歩計



万歩計とIPv6によるお年寄の健康管理システム



度人・知人 情報共有のメリット 適切な支援と健康意識の向上

<新システムのメリット>

- ·病気やケガといった緊急事態には、家族や医者、行政などから 適切なサポートを受けられるので、お年寄本人だけでなく、家族側 も安心して生活できる
- ·健康に長生きするための生活習慣を、皆が自然と意識するようになる
- ・毎日の歩数がデータベースに記録され、レポートで推移を把握で きるので、歩数目標を管理しやすい
- ・家族やかかりつけ医などとのコミュニケーションが円滑になる
- ·緊急事態に適切なサポートを行なうことで孤独死の防止につながる